

職員による自己評価

- A 環境面
- 利用定員がスペースとの関係で適切か
「はい」が7割、「どちらともいえない」、
の回答3割。1F、3Fともスペースは十分に
あると感じている。
- 事業所の設備は子供の特性に配慮されている
か？
「はい」が1割。「どちらともいえない」8割
「いいえ」の回答1割。
クールダウンのための個室などが必要と感じて
いる。
- B 業務改善
- 職員の資質向上のための研修を実施して
いるか？
「はい」が6割。月1回社内研修を実施している。
毎月のテーマは職員が各々テーマを決めて順番
に講師役を務めている。
- C 適切な支援の提供
- プログラムが固定化されないように工夫して
いるか？
「はい」9割。
外出レク、集団プログラムなど職員間で話し合
い、プログラムを考え毎月内容を変更して行っ
ている。
- 平日、休日、長期休暇に応じて課題を細やかに
設定しているか？
「はい」割「どちらともいえない」6割。
- 支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、
その日に気づいた点等を共有しているか。
「はい」6割。「どちらともいえない」2割
- 日々の支援の記録を取り、支援の検証・改善に
つなげているか？「はい」9割。「どちらとも
いえない」1割。日々の記録、振り返りノートを
付けており、情報共有、支援の改善につなげている。
- 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に
適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか？
「はい」4割。「どちらともいえない」4割。
相談に対していねいに対応している。一方で
相談を受ける機会が少ないので、相談しやすい
体制づくりを考えていくことも大切。

保護者による評価

- A環境面
- 活動のスペース確保について
フロアの広さに関しては、「はい」の回答が8割。
「どちらともいえない」、の回答2割、適切かどう
かよくわからないという意見があり、判断基準がな
いためどちらとも言えないとの回答になっている。
- 職員の専門性は適切か？
約8割が「はい」と回答。
保護者様の意見：「話す機会が少ないため判断が難
しい。」
- B適切な支援提供
- 客観的に分析されたうえで支援計画が適切に作成
されているか？
「はい」が95%。
保護者様の意見：「面談でヒアリングがあり、反映
されている。」
- 関係機関と連携し、子供に寄り添った支援が行われ
ているか？
「はい」約7割。
保護者様の意見：支援計画に沿った支援が行われて
いると思うが、連携しているかはわからない。」
- C保護者への説明等
- 支援の内容、外出先、利用者負担等について丁寧
に説明を受けていますか？？
「はい」約9割。
保護者様の意見：「毎回連絡帳や送迎時に様子のお
知らせがある。」
- 保護者に対して面談や育児、進路等の悩み等に対す
る相談に適切な対応と助言等が行われているか？
「はい」8割。
- 保護者からの苦情について、対応の体制を整備する
とともに、子供や保護者に周知説明をし苦情があっ
た場合に迅速かつ適切に対処していますか？ 「は
い」7割
保護者様の意見：「他の利用者から髪の毛が引っ張
られることがあったがその後の対応が丁寧であっ
た。」「苦情に接したことがないのでわからない。」

D 関係機関との連携や保護者との連携。

○学校との情報共有。行事予定。下校時刻の確認等や送迎時対応、トラブル発生時の連絡を適切に行なっているか？

「はい」 8割。「どちらともいえない」 割。

学校との情報共有、情報確認は送迎時や保護者からの連絡から行っており柔軟に対応している。

○日頃から子供の情報を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を行っているか？

「はい」 8割。「どちらともいえない」 1割。

送迎時や、電話、ラインなどで日頃の様子などを伝えている。

D 保護者への説明責任等

○子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか？

「はい」 10割。

E 非常時対応

○各種マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか？「はい」 6割。

マニュアルは作成されているが特に職員への周知が弱く、研修などを通じて周知をしていく必要がある。

○虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか？

「はい」 8割。

虐待防止委員会とともに普段の研修別に虐待に関する研修を行っていくことが求められる。

○食物アレルギーのある子どもについて十分な配慮をしているか？

「はい」 9割。

アセスメントを行い、おやつやレク時には個々の特性に応じた配慮を行っている。

E 満足度

毎回楽しみにして来てくれていると感じている。

「はい」 9割

D 非常対応

○各種マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか？

「はい」 7割、「どちらともいえない」 3割。

保護者様の意見：「策定されてると思いますが、説明されたことはないと思います。」

○避難訓練が定期的に行われているか？

「はい」 8割

E 満足度

○通所を楽しみにしているか？

「はい」 9割

保護者様の意見：「毎回行き渋りなく通っているようで安心して過ごせる場所の一つになっています。」

○事業所の支援に満足しているか？

「はい」 9割

保護者様の意見：「怪我に気づかないことがあるので少し心配。」「いつも親切丁寧な対応に感謝しています。」

【その他】

「もう少しスタッフの方とお話できる機会があるとよいと思っています。」「こども、親にとってなくてはならない施設です。」「色々な外出プログラム、レクを考えてくださり感謝しています。」「外出まで連れて行ってもらえて共有できてありがたいです。生活の楽しみ、心の支えになっております。」



次ページへ続く

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動プログラムが固定化されないように工夫されているか。
- ・各種マニュアルが周知されていない。
- ・個別支援計画が適切に作成されている。
- ・子どもが楽しみに通っている。

【相違点】

デイ	保護者
事業所の設備・環境についてさらに工夫が必要。	事業所の設備は特性に配慮されている。
学校との連携を行っている。	連携がされているかどうか分からない。
保護者からの悩みに対して適切に助言を行っていない。	保護者からの悩みに対して適切に助言を行っている。

分析・検討してみて…

事業所の改善への取り組み

- * 職員の専門性について・・・日々の振り返り、研修の機会を確保し職員の知識、スキルの向上に努め、保護者様から支援者としてだけでなく専門家として信頼を得られるように職員が日々の研鑽に努めて参ります。
- * 情報の発信について・・・法人のホームページの更新や整備をし、情報発信が遅滞なくできるように努めます。インスタグラムに限らず、保護者様の環境による情報の偏りをなくしていくため、紙面による発信に努めてまいります。
- * 保護者交流会について・・・今年度も実施ができませんでしたが、保護者間の情報交換、運営改善の場として来年度中に行えるよう努力していきます。
- * 緊急時対応マニュアル・防災マニュアル・感染症対応マニュアルについて・・・制度改正を踏まえて緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルは再度見直しと更新を行い、ホームページその他の方法にて周知できるよう整備を進めて参ります。
- * 活動プログラムや支援内容について・・・活動プログラムを固定化することなく、日々進化していけるよう職員の資質向上を目指して様々な分野の研修の機会を確保して参ります。
- * 保護者さまへの支援について・・・保護者様の様々なニーズに応えられるよう知識の向上とともに、いつでも相談できる雰囲気作りと対応を行って参ります。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の皆様には毎年事業所自己評価のアンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。今回は例年よりも短い回答機加減となりましたが、たくさんの温かいコメントを頂きました。今年度は、前年度からの取り組みをさらに改善しつつ新たな取り組みを行えるよう試行錯誤を重ねてまいりました。まだまだ拙く、未熟なところも多々ありますが熱意を持って前に進んでまいりますので、引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

アンケートのコメントの中では、心の支えになっているなど大変嬉しいコメントも頂き、大変感謝しております。Instagramの更新を楽しみにされている保護者様もたくさんおられ、スタッフの励みにもなっております。来年度はInstagramの更新だけでなく、保護者さまとの交流を行えるような企画を行っていかれたらと思っております。それだけでなく、子どもたちが安心して通えるだけでなく、将来のための土台を築けるデイを目指すため、日々の支援の質の向上や改善だけでなく、常に新たな知識の習得も行っていかねばならないと考えております。

まだまだ力不足ではございますが、今後は多様化していくニーズに応えられるよう放課後等デイサービスの役割を十分弁えつつ、楽しさの中に生活力やコミュニケーション力の向上を図れるような支援を提供することで、子どもたちはもちろん、保護者様・地域の皆様にも愛される事業所となるよう持ち前の熱意とチームワークの良さを生かして歩んでいきたいと思っております。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

事業所名 放課後エニタイム白楽

担当者 渡邊 拓